

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和8年3月28日

法人名 社会福祉法人白ゆり会	園名 キッズガーデン白ゆり
-------------------	------------------

まとめ 全体平均 4.56

第2章第2節 乳児期の園児の保育	連絡帳を利用し、日々の生活を共有し、給食室の連携を図りながら保育を進めた。おもちゃや、手遊びで遊んでいる時には一人ひとりの子どもが発する言葉や動きをしっかりと受け止め優しく見守り語りかけている。午睡時等には、落ち着いた環境の中で歌を歌ったりして、落ち着いて入眠できるようにした。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	園庭が狭い為十分に運動することは難しく可能な限り園外散策に出ている。近所に公園があるため走ったり大縄をしたり鉄棒で後ろ回りをしたりして遊ぶ機会を増やしている。今年度も食育に力を入れプランターや地植えをし収穫を楽しみ給食で出してもらった。食材の名前、色、形、メニューなどにも興味を示している。年齢別の保育をすることもあるがほとんど一緒に生活する中でお互い優しい気持ちが生えている。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	0
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	クラス別の活動もあるが、小規模ならではの合同の生活がほとんどである。職員全員が個人の成育歴を長期的にとらえ、保育をすすめることができる。保護者にはドキュメンテーションとして日々の遊びを写真で見せていただいている。給食室を含め職員全員が子ども一人ひとりの育ちを共通理解し寄り添った保育を進めている。異国の風習にも尊重した保育を行った
第3章 健康及び安全	日々の保育では、毎朝検診で、子どもたちの少しの異常も見逃さず保護者に検温をしていただく際、変りがないかを確認している。また保育中いつもと違う場合は触診や検温をし、異常があれば保護者に連絡をし、可能な限りのお迎えをお願いしている。南海トラフも懸念される昨今、避難訓練も福浜小学校まで行ってみることを経験した。職員全員で子どもたちの命を守るため真剣に行っている
第4章 子育ての支援	保護者の方々に真摯に向き合い、寄り添い、職員が一つになって、共通理解をして一人ひとりの子どもたちのよりよい成長を促していくようにしている。一般の地域の方々に向けての「子育てひろば」には今年も参加者はいなかった
第5章 職員の資質向上	保育士の勤務状況などから、なかなか研修に参加することが難しいこともあったが、午睡の時間にみんなで視聴したり、自宅でのオンライン研修をし、経験と研修をしっかり積んでスキルアップして来ているのを感じる。職員会議でも活発な意見が出てきている。職員全員が共通理解し自信をもって、またチームワークよく保育をすすめていくことが出来てきている
総合	今年度新卒の職員を迎え、保育責任者も1年目で、職員も明るく元気に保育をすすめていけたように思われる。子どもの視線に合わせ寄り添って保育をすすめて、子どもの自然な明るい笑顔が響き、大きな事故もなく過ごすことができた。保護者の協力も得られ、アンケートによい印象の答えを多数いただくことができています。国籍の違う子どもを保育したのもよい経験となった。今後の受け入れに活かしたい。職員全員が共通理解し自信をもってチームワークよく保育をしていきたい。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.87
「3歳未満児保育」	32	4.67
「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!
「教育保育の配慮事項」	16	4.50
「健康・安全」	29	4.52
「子育ての支援」	13	4.15
「職員の資質向上」	9	4.44
計	114	4.56

データグラフ

